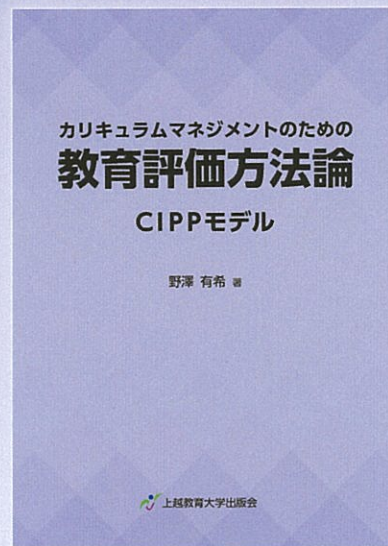


カリキュラムマネジメントのための 教育評価方法論 CIPPモデル

本書は日本のカリキュラム改善と学校改善のために、特に今後ますます重要になるカリキュラムマネジメントを行う際に、カリキュラムの全過程をコントロールし、改善の意思決定に情報を提供するCIPPモデルという方法論を提案した。学校全体の改善を目指すためには、マクロな視点でカリキュラムの全体構造とシステムの改善を行うことが求められている。つまり、広い視点で学校全体のカリキュラム活動を俯瞰し、不断に改善できるように努力することである。CIPPモデルは全体を俯瞰でき、改善の意思決定に情報提供できるカリキュラムマネジメントのサイクルである。本書はCIPPモデルの成立背景、内容を検討するうえで、このモデルを用いて、日本と香港のカリキュラムマネジメントとカリキュラム開発の事例研究の分析を行った。特に、校長、ミドルリーダー、教員に意思決定の情報を提供するCIPPモデルというカリキュラム改善サイクルを如何に構築するかを明らかにしたものである。(本書はじめにより)



野澤 有希 著

B5判・並製 / 144頁
ISBN978-4-9909973-2-8

定価 (1,400円+税)

2019年3月25日 発行

発行：上越教育大学出版会
発売：永田印刷株式会社出版部

永田印刷株式会社出版部

〒943-0823 新潟県上越市高土町 3-10-3
TEL 025-523-4452 FAX 025-526-2584
URL <http://www.nagap.co.jp>

目次

序章 緒論

第1章 CIPPモデルの成立背景と内容

第2章 CIPPモデルの三つの視点

第3章 日本のL小学校のカリキュラム評価の事例研究からみるCIPPモデルの役割

第4章 CIPPモデルの視点から香港の校本課程開発における校長の意思決定の検討

終章 結論

コラム 教育評価歴史から見るCIPPモデルの位置づけ

注文数

カリキュラムマネジメントのための

教育評価方法論 CIPPモデル

冊

ISBN978-4-9909973-2-8 定価 1,400円+税 (右記書店発送の場合、送料は別途負担となります)

氏名/団体名

ご住所 〒

TEL

取扱店